|  |  |
| --- | --- |
| 解答例 | 解説 |
| １ | 思考アイコン |  | １ | CとDのボーリング試料ではほぼちがいがなく，CとDにある赤色の層がAとBでは存在しない。このことから，CとDの間ではいておらず，C・Dの層からB，Aの層に向かって傾いていると考えられる。これらの考えをもとにして，地層の傾きを図示する。 |
| ２ | 知識アイコン思考アイコン | ⑴　中生代⑵　昔は海の底であったこと | ２ | ⑴

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 地質年代（時代） | 示準化石（例） |
| 古生代 | 約5億4000万年前～ | フズリナ・サンヨウチュウ（三葉虫） |
| 中生代 | 約2億5000万年前～ | アンモナイト・ティラノサウルス |
| 新生代 | 約6500万年前～ | ビカリア・ナウマンゾウ |

⑵　ヒマラヤ山脈は，以前は海底であった地層がし上げられたもので，海に生息していた生物の化石が発見されている。山頂付近には，イエローバンドと呼ばれるウミユリの化石をふくむ白い帯が見られる。 |
| ３ | 思考アイコン思考アイコン | ⑴　火山灰は広い範囲で積もるから⑵　海岸から離れた深い海（または沼や湖）の底 | ３ | ⑴　した火山の火山灰は広にわたってするため，れた地域の地層をする際の手がかりとなる。大阪平野にも，約90万年前に九州で噴火した火山から運ばれてきた火山灰の地層（アズキ火山灰層）が見られる。⑵　はが小さいため，水の流れがおだやかなところに堆積する。そのため，海岸かられた深い海やや湖であったと考えられる。 |